

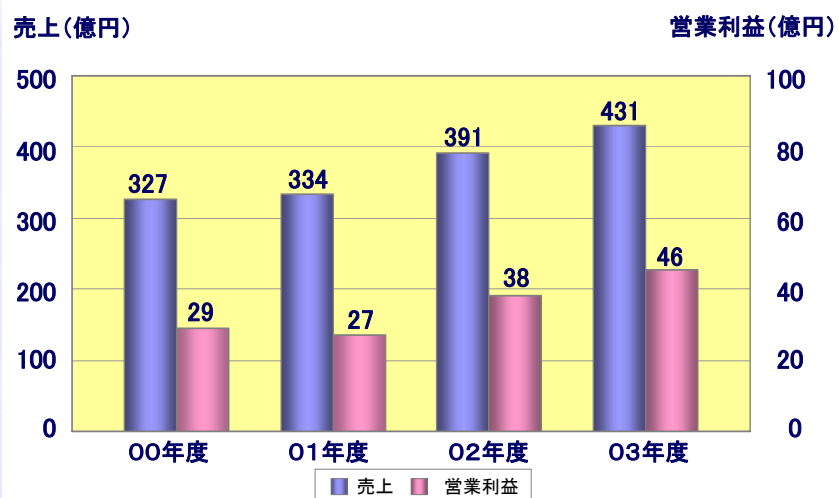
第 I 部

2003年度 決算概況

1. 連結実績
2. 単独実績
3. 重点施策の実施状況

1. 2003年度連結実績

◆ 損益実績



1. 2003年度連結実績

◆事業別詳細

(単位:百万円)

		02年3月期	03年3月期	04年3月期
売上高合計		33,360	39,132	43,117
〔伸び率〕		〔2.1%〕	〔17.3%〕	〔10.2%〕
法人別売上高	アルファ物流	20,201	22,233	23,820
	〔伸び率〕	〔△7.8%〕	〔10.1%〕	〔7.1%〕
	海外法人	2,532	4,347	5,598
〔伸び率〕	〔30.8%〕	〔71.7%〕	〔28.8%〕	
流通サービス	10,627	12,552	13,699	
〔伸び率〕	〔20.2%〕	〔18.1%〕	〔9.1%〕	
営業利益		2,718	3,799	4,627
〔伸び率〕		〔△6.5%〕	〔39.8%〕	〔21.8%〕
(営業利益率)		(8.1%)	(9.7%)	(10.7%)

※1. 伸び率は対前年同期増減率

2. 法人別売上高及びその伸び率は連結消去後の数値です

2. 2003年度単独実績

(単位:百万円)

	02年3月期	03年3月期	04年3月期
売上高	20,335	22,406	24,249
〔伸び率〕	〔△7.6%〕	〔10.2%〕	〔8.2%〕
営業利益	1,565	2,136	2,665
〔伸び率〕	〔△27.6%〕	〔36.5%〕	〔24.7%〕
(営業利益率)	(7.7%)	(9.5%)	(11.0%)
経常利益	1,640	2,205	2,644
(経常利益率)	(8.1%)	(9.8%)	(10.9%)
当期純利益	859	1,207	1,502
(当期純利益率)	(4.2%)	(5.4%)	(6.2%)

3. 重点施策の実施状況

- (1) 中国内保税倉庫の整備拡充
- (2) 華東地区の拠点設立・ネットワークの拡充
- (3) 航空混載貨物事業の強化

ALPS LOGISTICS CO., LTD.

3. 重点施策の実施状況

(1) 中国内保税倉庫の整備拡充

- 1) 香港 倉庫統合
2ヶ所の倉庫を香港港コンテナヤード内に増床し、統合(8,500㎡)
03/5 統合完了
- 2) 上海 第2倉庫の増設
上海外高橋保税區にて第1倉庫の2倍の規模の
倉庫(14,000㎡)を増設。03/9 竣工。
- 3) 大連 新倉庫の開業
大連市保税區に新会社設立し保税倉庫(8,900㎡)を建設
03/10 竣工

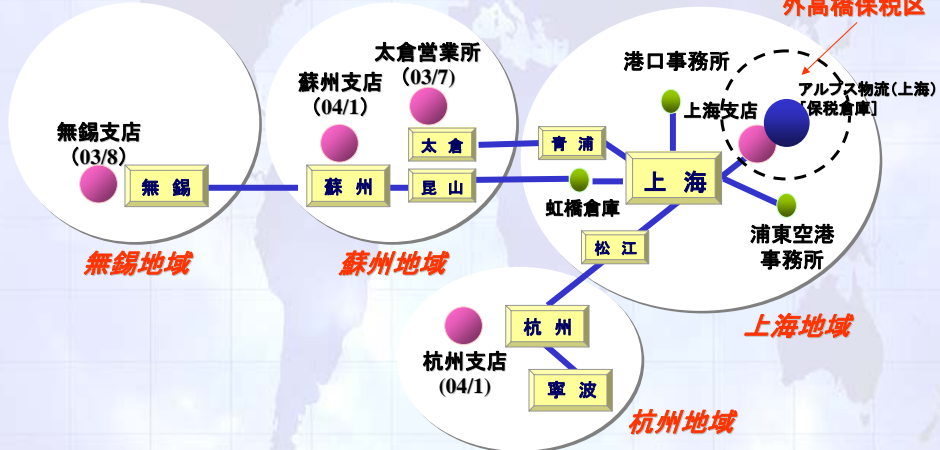
◆中国倉庫面積の状況

03/3 30,520㎡ → 04/3現在 58,890㎡ (前年比193%)

3. 重点施策の実施状況

(2) 華東地区の拠点設立・ネットワークの拡充

- 1) 華東地区に無錫、蘇州、杭州の3支店を設立
- 2) 内陸通関サービスの開始



支店・営業所・事務所は全て天津泰達アルプス物流管轄

ALPS LOGISTICS CO., LTD.

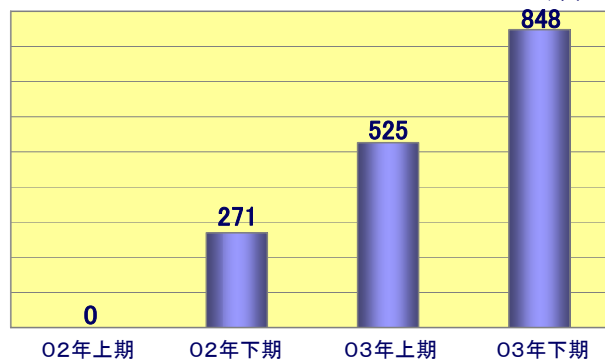
3. 重点施策の実施状況

(3) 航空混載貨物事業の強化

- 02年 3月 IATAライセンス取得
- 02年 8月 混載事業の認可取得
- 02年10月 事業開始

航空混載事業売上高推移

(単位: 百万円)





第 II 部

電子部品物流の事業展開

1. 電子部品物流の事業環境
2. 2004年度事業方針及び戦略
3. 2004年度重点施策



1. 電子部品物流の事業環境

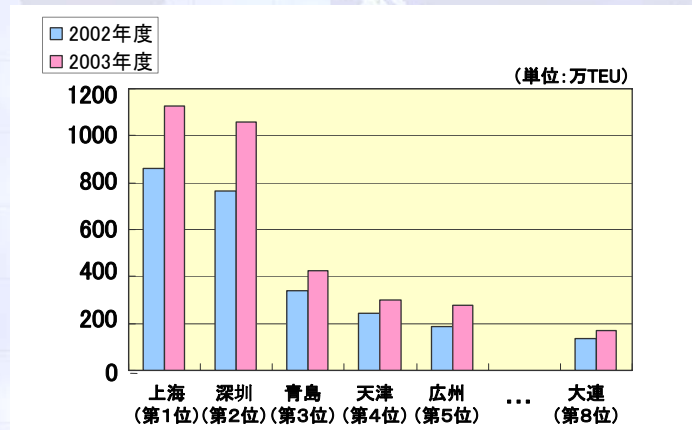
- (1) 中国への生産シフトの進展
- (2) 顧客のSCM志向による物流革新の進展
- (3) 3PL志向の業者の増大と競争激化

(1) 中国への生産シフトの進展

中国物流量の急増

中国主要港のコンテナ取扱量の状況

2003年の中国全体の取扱量は前年比130%の伸びとなった



出典: 中国交通部 統計

(2) 顧客のSCM志向による物流革新の進展

在庫削減、物流ルートの見直し等による取扱貨物の減少傾向が進む

商社を中心とした物流拠点の統廃合、アウトソーシング・ニーズが高まる

グローバルでの総合物流サービスの提供要請が強まる

(3) 3PL志向の業者の増大と競争激化

専門形態での生き残り困難

3PLを志向する業者増大

欧米にて企業統合による巨大総合物流企業出現

- ・UPSによるFRITZ(グローバルフォワード)の統合
- ・ドイツポストによるDHLの買収 etc.

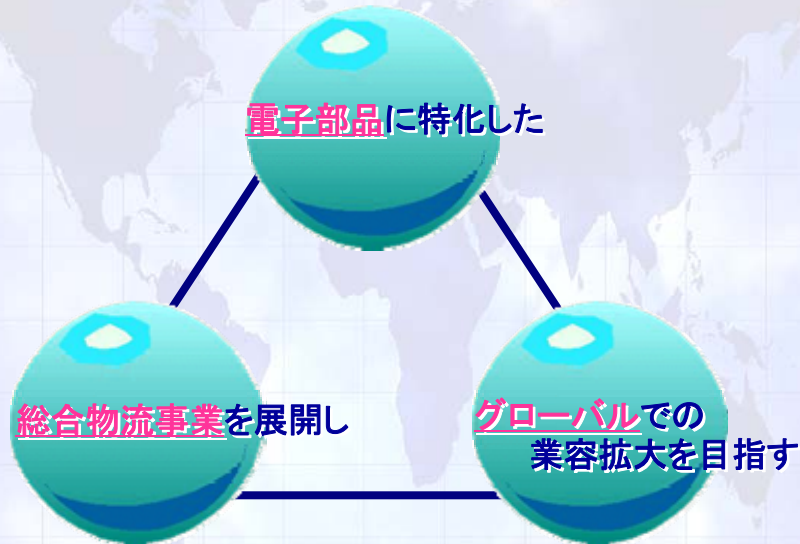
電子部品物流分野での競争激化

2. 2004年度事業方針及び戦略

(1) 事業方針

(2) 事業戦略

(1) 事業方針



(2) 事業戦略

1. 経営基盤、事業体質の強化

- ・TDK物流との事業統合推進
- ・基幹事業の深耕
- ・人材の確保・育成・強化

2. グローバル物流体制の整備拡大

- ・既存海外現法の中身の充実
- ・各拠点間の情報・物流ネットワークの整備
- ・物流拠点の拡充
(成田航空貨物営業拠点、上海外高橋保税物流園区)

3. 顧客満足度向上によるビジネスの拡大

- ・高品質な物流サービスの提供
- ・SCMニーズ、グローバルニーズに対応したサービスの提案
- ・総合メリットを活かした拡販

3. 2004年度重点施策

- (1) TDK物流との事業統合推進
- (2) 成田航空貨物営業拠点の再構築
- (3) 上海外高橋保税物流園區への参入

(1) TDK物流との事業統合推進

◆ 合併の要旨

1) 合併の日程

株主総会承認 04/6/24(予定)

合併期日 04/10/1

2) 存続会社及び商号(社名)

株式会社アルプス物流

(1) TDK物流との事業統合推進

◆ TDK物流の概要

TDKの100%子会社で、TDKの国内における運送・保管業務を取扱う。

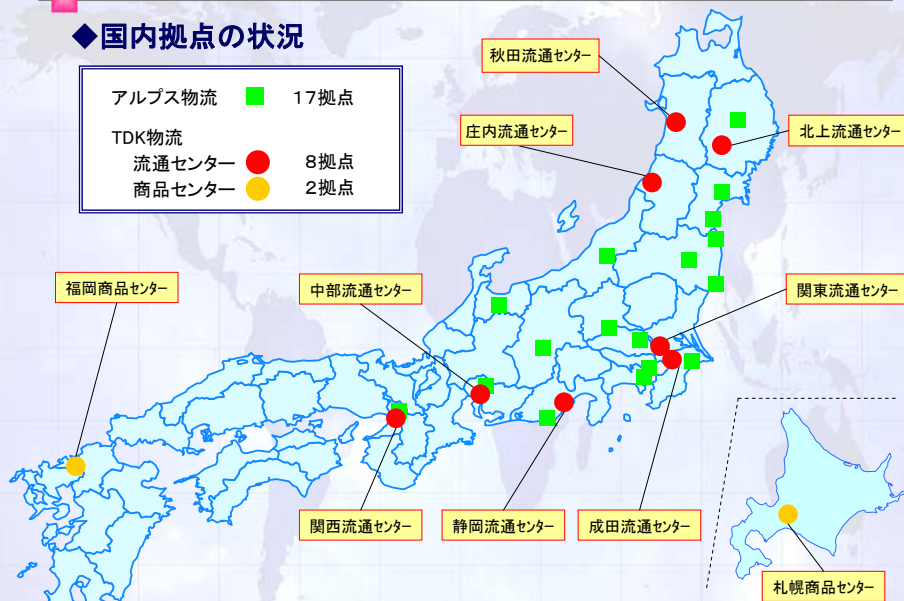
会社概要(2004年3月期)

- ◇本店所在地 千葉県松戸市上本郷字仲原493-1
- ◇売上高 5,872百万円
- ◇総資産 2,633百万円
- ◇株主資本 1,674百万円
- ◇資本金 855百万円
- ◇発行済株式数 171万株(TDK100%所有)
- ◇従業員数 228名

(1) TDK物流との事業統合推進

◆ 国内拠点の状況

アルプス物流	■	17拠点
TDK物流		
流通センター	●	8拠点
商品センター	●	2拠点



(1)TDK物流との事業統合推進

◆合併の狙い・目的

- ベースカーゴの拡大による経営基盤の安定化と体質強化
- 規模拡大に伴う事業効率の向上
- 競争力の強化による更なる成長

(1)TDK物流との事業統合推進

◆合併に向けての課題


- 1)国内事業の統合推進
 - ・輸配送ネットワークの統廃合
 - ・営業拠点の統廃合
- 2)制度・システムの統合
 - ・人事関連制度の統合
 - ・業務系、管理系(人事・経理)システムの統合
- 3)統合メリットを活かした拡販
- 4)企業文化の融合



(2)成田航空貨物営業拠点の再構築


1)再構築の背景

2)倉庫建築計画概要



1)再構築の背景

- ◆L/Tの短縮から航空貨物ニーズの増大
- ◆輸出入航空貨物のストック&デリバリーニーズの高まり
- ◆成田地区におけるTDK物流との拠点統合



成田地区での航空貨物拠点の再構築

2) 建築計画概要

- ◆ 場 所 千葉県山武郡芝山町大台
(芝山工業団地内／成田空港へ6km)
- ◆ 敷地面積 約11,000㎡ (3,348坪)
- ◆ 建物面積 21,940㎡ (6,637坪) 5階建
- ◆ 投資金額 22億円
- ◆ 日 程 2004年6月着工
2005年3月完工



(3) 上海外高橋保税物流園区への参入

1) 物流園区概要

香港並の自由貿易港を目指し開発された物流パーク

- ◆ 場 所 上海外高橋港隣接地
- ◆ 投資総額 28億元
- ◆ 倉庫総面積 500km²
(うち80km²が04年10月完成予定)



(3) 上海外高橋物流園区への参入

2) 物流園区の機能

- 1) 国際中継...国際コンテナのバンニング、デバンニング、混載
- 2) 国際配送...先出荷、後通関による中国内外への配送可
- 3) 国際調達...国内生産品の調達及び海外への配送
(入区により増値税還付、国内再輸入可)
- 4) 国際中継貿易

3) 当社契約内容

- ◆場 所 国際配送区Aエリア
- ◆契約面積 倉庫 5,711㎡
事務所 277㎡
- ◆倉庫完成時期 04年10月

第 III 部

国内連結子会社(流通サービス)の 活動状況

1. 事業概要
2. 事業環境
3. 騎西物流センター新棟稼動状況
4. 売上状況

1. 事業概要

<事業領域>

消費物流分野における一貫物流サービスの提供
—流通加工・保管・在庫管理・輸送—

<事業の特長>

- ・少量多品目、多頻度、小口配送対応
- ・24時間365日の作業体制

<運営体制>

- ・デジタル・ピッキング・システム、バーコード検品システム等による業務効率化
- ・個配用車両734台、一般運送車両154台
- ・全国拠点
流通加工拠点…23拠点、個配センター…44拠点
- ・ISO9001(2000年度版)取得済

2. 事業環境

◆生協における共同購入から個配への消費者ニーズの変化

- ・個配の伸び…年率20～30%
- 2004年度に共同購入を上回る見通し

◆顧客の物流アウトソーシング・ニーズの高まり

◆冷凍冷蔵品物流ニーズの増加

- ・消費者生活様式の変化に伴う冷凍冷蔵品の需要増加
- ・L/T短縮を目的とした通過型の冷凍冷蔵物流拠点のニーズ拡大

3. 騎西物流センター新棟(B棟)稼働状況

場 所: 埼玉県北埼玉郡騎西町(騎西物流センター(A棟)隣接地)

倉庫概要: 冷凍・冷蔵・常温の3温度帯倉庫
4階建て (延床面積 21,800 m²)
(既存A棟 16,000 m²)

竣 工: 2003年11月

投 資 額: 土地 5.6億円 建物等 23.6億円

稼働状況: 2004年3月 55% (ドライ 75%・冷凍冷蔵 41%)

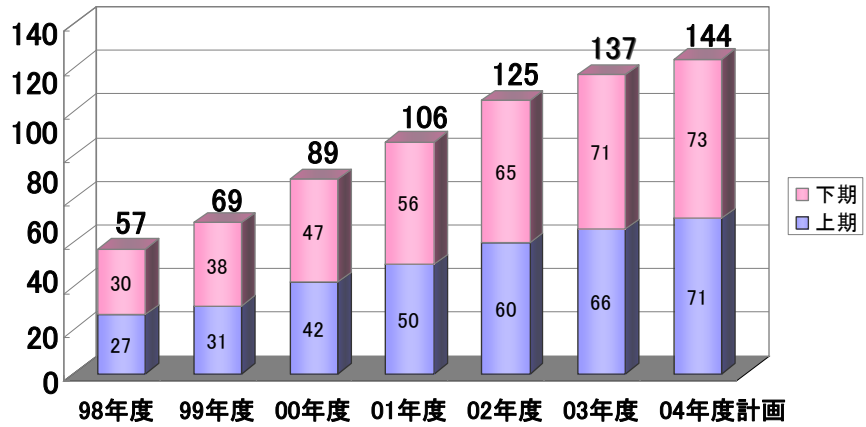
2004年9月計画 65%

2005年3月計画 70%

3. 騎西物流センター稼働状況

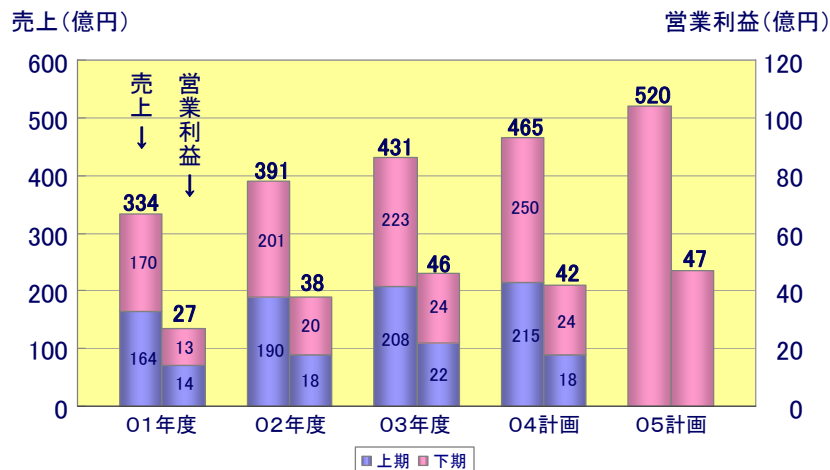


4. 売上高推移



第 IV 部 2004年度計画

連結損益計画



事業別詳細

(単位: 百万円)

	04年3月期	05年3月期	06年3月期
売上高合計 〔伸び率〕	43,117 〔10.2%〕	46,500 〔7.8%〕	52,000 〔11.8%〕
法人別売上高			
アルプス物流 〔伸び率〕	23,820 〔7.1%〕	25,900 〔8.7%〕	30,000 〔15.8%〕
海外法人 〔伸び率〕	5,598 〔28.8%〕	6,200 〔10.8%〕	6,800 〔9.7%〕
流通サービス 〔伸び率〕	13,699 〔9.1%〕	14,400 〔5.1%〕	15,200 〔5.6%〕
営業利益 〔伸び率〕	4,627 〔21.8%〕	4,190 〔△9.4%〕	4,670 〔11.5%〕
(営業利益率)	(10.7%)	(9.0%)	(9.0%)

- ※1. 伸び率は対前年同期増減率
 ※2. 法人別売上高及びその伸び率は連結消去後の数値です

2004年度 単独計画

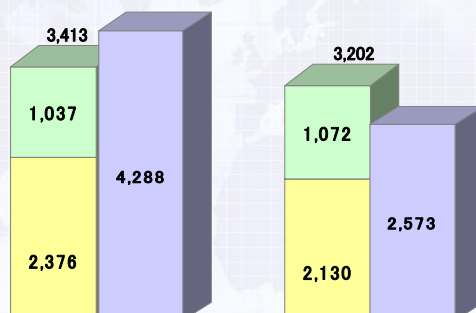
(単位:百万円)

	03年3月期	04年3月期	05年3月期
売上高 〔伸び率〕	22,406 〔10.2%〕	24,249 〔8.2%〕	26,300 〔8.5%〕
営業利益 〔伸び率〕 (営業利益率)	2,136 〔36.5%〕 (9.5%)	2,665 〔24.7%〕 (11.0%)	2,420 〔△9.2%〕 (9.2%)
経常利益 (経常利益率)	2,205 (9.8%)	2,644 (10.9%)	2,580 (9.8%)
当期純利益 (当期純利益率)	1,207 (5.4%)	1,502 (6.2%)	1,480 (5.6%)

連結 キャッシュフローと設備投資

(単位:百万円)

■ 減価償却費
■ 当期純利益
■ 設備投資額



04年度3月期 設備投資実績		05年度3月期 設備投資計画	
成田 倉庫用地取得	293	成田倉庫建設及び付帯設備	2,200
上海 倉庫建設	647	その他	373
大連 土地・倉庫建設	262		
騎西 B棟(倉庫)建設	2,355		
その他	731		
合計	4,288	合計	2,573



1株当りの配当

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
03年3月期	7円50銭	7円50銭	15円
04年3月期予定	7円50銭	12円50銭	20円
05年3月期計画	7円50銭	7円50銭	15円

**04年3月期 期末配当金では創立40周年記念配当5円を加え
12円50銭の実施を予定**